



令和8年度 さくら小学校 グランドデザイン



【茨城県】

<学校教育推進の重点>
 【すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり】
 ・カリキュラム・マネジメントの確立
 ・未来を拓く学びの展開
 ・安心して学べる環境の保障

桜学園 教育目標

夢をもち、自立して社会に貢献できる
 児童・生徒の育成
 【みんなが幸せを実感できる学園・学校】

【つくば市】

<最上位目標>
 【一人ひとりが幸せな人生を送ること】
 ・教えから学びへ
 ・管理から自己決定へ
 ・認知能力偏重から非認知能力の再認識へ
 ☆問いから始まる学び☆

経営方針

自分の「やってみたい」が、
 みんなの幸せにつながる学校づくり

目指す児童の姿

・居場所があり安心できる姿
 ・ワクワク（できた・分かった・もっとやってみたい）と学びに夢中になって取り組む姿
 ・人のためになることを考え、行動する姿

学校の教育の柱

・「安心・安全」と「心が動く瞬間」がある
 ・「自己決定」を大切にする
 ・「ありがとう」がいっぱいある

目指す教師の姿

・児童の気持ちに寄り添いインクルーシブでフラットな姿
 ・自らの学びを楽しみながら問い続け学び続ける姿
 ・ワークライフバランスを実践する姿

組織目標

- 1 互いを認め合い、自分を安心して表現できる心の安定基地となる学級・学年・学校づくり
- 2 児童同士をつなぎ、対話と自己決定のあるワクワクする授業づくり
- 3 児童と向き合う時間の確保とワークライフバランスを意識した働きやすい職場環境づくり

学校経営ビジョン

- 1 幸福感の基盤となる安心・安全な学校・学級づくりの推進**
 - ・こどもの権利を尊重し、多様性の認識に基づくインクルーシブでフラットな関係の構築
 - ・グループワーク等を活用したよりよい関係づくり（いじめの未然防止）
 - ・みんなのことを考え行動できるルールメイキングを核とした特別活動の充実
- 2 幸福感の核となる「対話」と「自己決定」のある授業改善**
 - ・「聴く」を大切にして学び合う、協働的な学びの実現
 - ・単元を意識した自己調整（学ぶ内容や学び方の選択等）のある学びの推進
- 3 本物の問いにもとづく、社会とのつながりを生かした探究的な学びの推進**
 - ・社会で学ぶ、社会を学ぶ教育の推進（外部講師・専門家・地域人材等の積極的活用）
 - ・つくばスタイル科を核としたつくば 21 世紀型能力の育成
- 4 先進的な ICT を活用した学びと校務の推進**
 - ・教室の枠を超え、個別最適・協働的な学びをシームレスにつなぐ活用
 - ・デジタルツールを有効活用した校務の効率化と教育の質の向上
- 5 みんなが幸せになる、特別ではない特別支援教育の実施と多様な学びの支援**
 - ・ニーズに応じた合理的配慮の提供と全教職員による支援体制の構築
 - ・ハートフル S ルームの効果的な活用による、居場所と学びの保障
- 6 心身の自己管理能力を高める取組の推進**
 - ・専門家、専門職員と連携した健康課題に対応する保健教育、食育の推進
 - ・生活習慣の確立とメディアリテラシーの向上にむけた家庭との連携強化
- 7 働き方改革の推進と人財育成**
 - ・働きがいの向上とタイムマネジメント意識の徹底、休憩時間の確保
 - ・自ら求める研修の推進と高め合う組織文化の醸成
- 8 学園を核とした、小中一貫教育とコミュニティスクールの推進**
 - ・イェナプラン教育の理念を生かした異年齢集団や対話による学びの推進
 - ・共に子供を育てる「共育」を目指す学校支援体制（保護者会の運営基盤）の構築